給与前払いサービス『プリポケ』

「立替払い型」プランを開始

手数料は業界最低水準の１.５％

給与前払いサービス「プリポケ」を提供しているマネーコミュニケーションズ（東京都港区）は、従来のプリポケ『直接払い型』プランに加え、新たに『立替払い型』プランの提供を開始した。営業部の松本武部長代理は、「企業の初期導入費用、サービス利用料（月額）は０円で、前払い毎の手数料は前払申請金額の１・５％と業界最低水準」と胸を張る。

松本氏

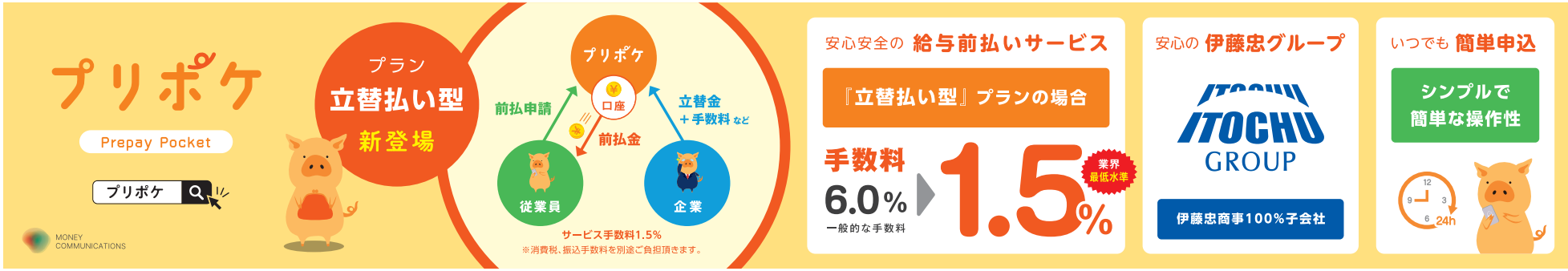
同サービスは、スリポケ『立替払いマートフォンアプリ型』は、当社が前払いなどによる申し込み金を立替払いするで、給料日を待たずに働いた分の給料を受け取れるというもの。従業員は２４時間・３６５日、給与前払いの申し込みが導入いただける」と説明。

導入には審査があり、申込から運用開始までは約１か月程度。従業員及び勤怠のデータがプリポケのシステムに登録されると、従業員の前払利用が可能になる。「企業様には通常の給与支払日に前払利用金額を差し引いた額の給与を従業員様にお支払いいただく。また、月に一度、前払利用分（立替金額）を当社にお支払いいただく」。

「働き方が多様化している現在、福利厚生の一環として、『給与前払いサービス』や『日払い』『週払い』といったワードを求人要項に入れるだけで、応募者数が急増したケースも多い」とし、「コロナ禍で求人への応募は増えていると聞くが、『より多くの人材を確保するためにも活用したい』という声もいただく」。

従業員側のメリットとしては、「利用可能額や利用履歴を確認しながら、計画的に活用できる」点を挙げる。「企業は給与前払いを利用できる対象期間を柔軟に設定でき、前払いを行う上限金額の設定も可能」。

刈田氏

「新たに給与前払いサービスの導入を検討される企業や、既に同様のサービスを導入しているが『料金が高い』と感じられている企業の皆さんに負担なく導入いただける」と総括する松本氏。「企業、従業員さん双方にとってメリットが大きいサービスと自負している」と熱く語った。

刈田氏は、「従来の手数料は前払いのプリポケ『直接払い型』も業界最低水準の低料金で提供しているが、前払資金を自社で事前に準備しておく必要があるため、企業によっては負担が大きい場合もあった」とし、「プ